



教育学習支援センター ニュースレター

Center for Academic Practice and Resources, Newsletter

教育学習支援センターでは、学生の主体的な学びを促進するとともに、一人ひとりが学修の成果を実感できるよう、意義ある学習経験を生み出す大学環境づくりを支援しています。

主な業務として、教育・学習に関する学生からの相談を受け付けるほか、大学生活や学びを支援するイベントを定期的に行っています。今年度前期には、新入生を中心に学生同士のつながりを築くことを目的とした「トークシェア」と、Hirodai TA制度の企画・運用に関する「TAセミナー」を、それぞれ2回開催しました。

さらに、教育・学習活動に関する情報の収集・分析を行い、その成果を教学分析報告として取りまとめています。

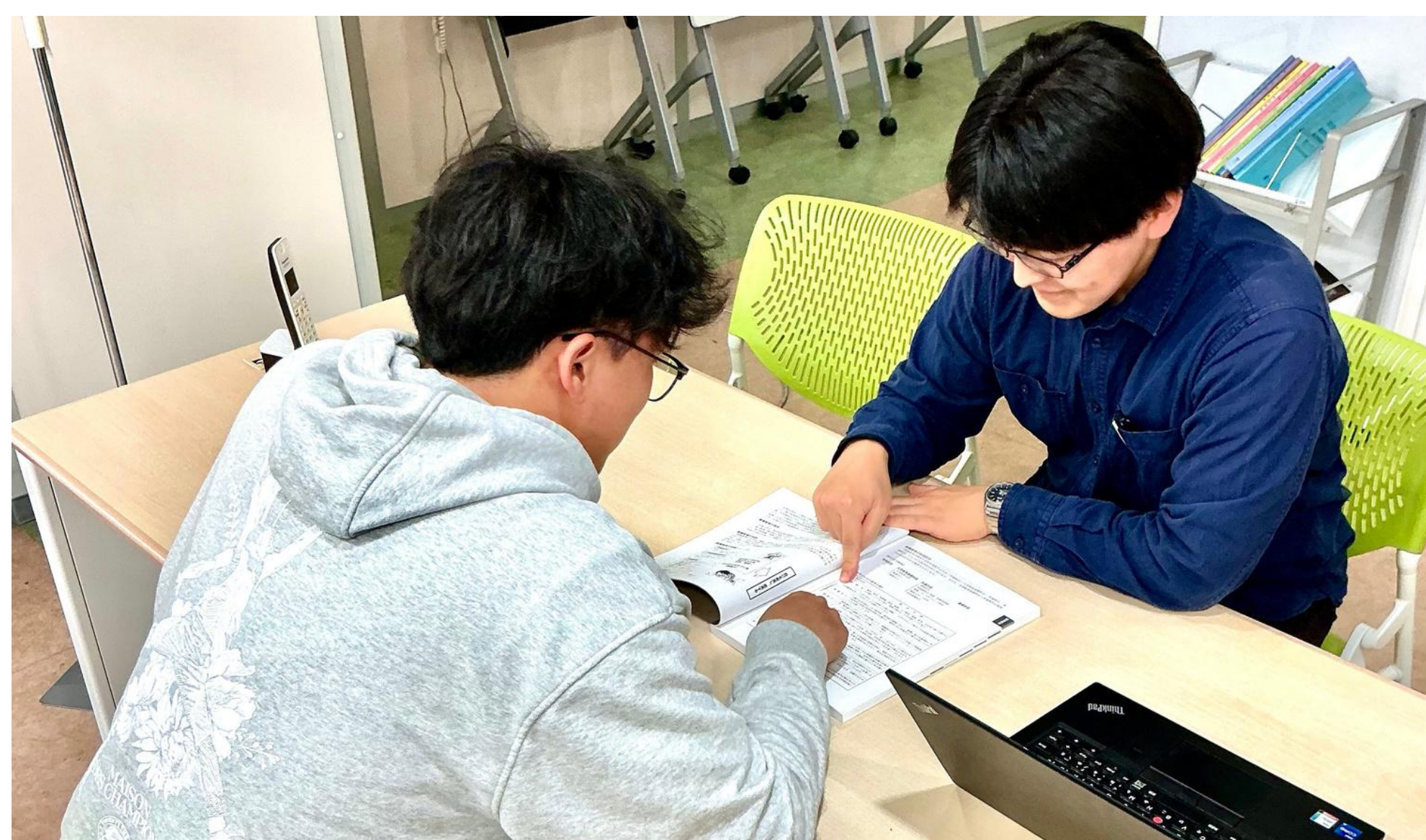
本号では、教育学習支援センターが行っているこれらの取組について、詳しくご紹介します。

2026年度前期の取り組み

○教育・学習に関する相談窓口のご紹介

教育学習支援センターでは、学生プラザ1階にて、[教育・学習に関する相談窓口](#)を運営しています。月曜から金曜の平日には、学生スタッフが常駐しており、対面での相談を中心に対応しています。また、メールでの相談も行っており、東広島キャンパス以外の学生や、時間の都合が合わない方にもご利用いただいています。学部1年生から大学院生まで、多くの学部・研究科の方々に活用されており、日々さまざまな相談が寄せられています。

○どんな相談が多い？相談傾向をのぞいてみよう



今年度前期には、窓口で計85件の幅広い内容の相談が寄せられました。学生のみなさんから寄せられた相談をまとめたところ、以下のような傾向が見えてきました。

1位：履修に関すること（34件）

履修登録の方法や期限、評価方法、授業の進め方や成績、資格取得に必要な科目に関する不安の声が多く聞かれました。

2位：大学生活に関すること（20件）

各種証明書や学生証、自転車通学、IT環境や学習ツールの使い方、申請書類の書き方、留学や奨学金、進学・所属プログラム、友人づくり、今後の大学生活に関する悩みなどの相談が寄せられました。

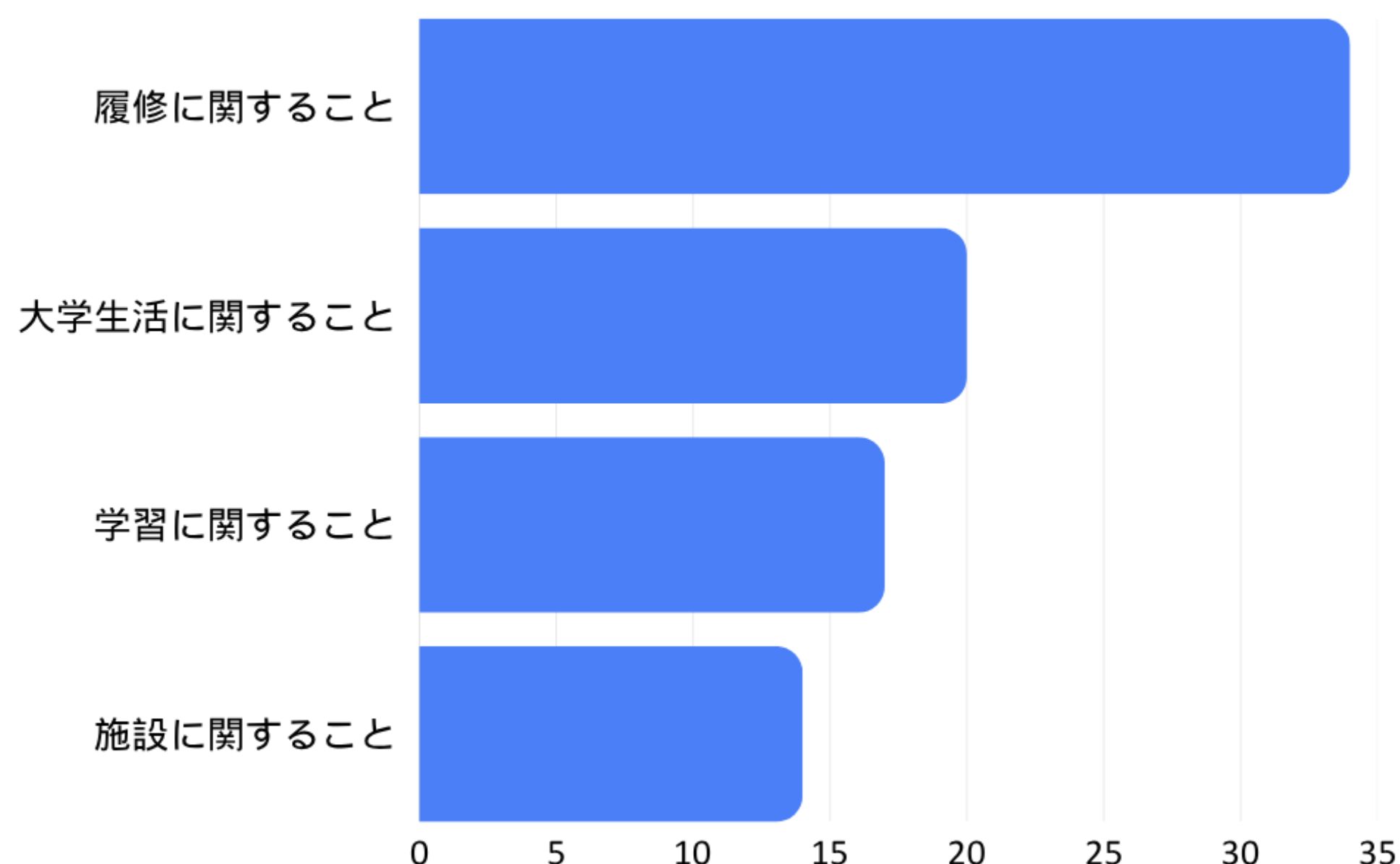
3位：学習に関すること（17件）

レポートやプレゼンテーションの作成方法、引用文献の書き方、レジュメやグラフの確認、英語学習、論述試験対策、大学院入試に向けた学習方法などに関する相談が目立ちました。

4位：施設に関すること（14件）

学生支援室や図書館など、学内施設の「場所」や「利用方法」についての問い合わせが寄せられました。

このように、教育学習支援センターでは、学習や履修に関するだけでなく、大学生活に関する幅広い相談を受け付けています。上記のような内容に限らず、「ちょっと困った」ときや「こんなことを聞いてもいいのかな？」と思ったときには、どうぞお気軽にご相談ください。



○第1回「新入生広大トークシェア」2026年4月27日

「広大トークシェア」は、本センターの学生スタッフが企画・運営し、所属や学年を超えた学生同士のつながりを深めることを目的とする交流イベントです。今回は、法学部、理学部、工学部、各研究科・研究院から新入生計20名が参加し、学生スタッフとともに5つのグループに分かれて交流しました。「自己紹介記憶ゲーム」や「共通点探しゲーム」で打ち解けた後、大学周辺のおすすめの飲食店、お互いの地元、学業とアルバイトの両立など、幅広い話題で会話が弾み、和やかで活気のある交流の場となりました。



○第1回TAセミナー 2026年5月27日 「知ろう！語ろう！学プラDEトークカフェ～生成AIと学生生活～」



本セミナーは、教育や生成AIに関心を持つ学部生・大学院生が、生成AIと学生生活との関わりについて所属や専門の垣根を越えて語り合うことを目的としたもので、経済学部、工学部、情報科学部、人間社会科学研究科、先進理工系科学研究科、医系科学研究科から計15名（対面9名、オンライン6名）が参加しました。前半では、学生スタッフが国・大学・企業における生成AIの活用事例や方針を紹介し、学生の学びや生活との関わりについて話題を提供しました。その後、対面とオンラインに分かれ、架空の研究室を題材としたケーススタディに取り組み、生成AIを利用する際の留意点やリスクについて活発に議論しました。終盤には、日々の講義や研究活動における生成AIの活用事例や経験について、和やかな雰囲気の中で意見を交わしました。

○第2回「広大トークシェア」2026年7月8日

今回のトークシェアは全学生を対象に実施し、総合科学部、教育学部、法学部、工学部、生物生産学部、各研究科・研究院から計21名が参加しました。当日は、学生スタッフも加わって英語と日本語のグループに分かれ、留学生と日本人学生が言語や所属の枠を超えて交流しました。アイスブレイクの「相手に自分の自己紹介を覚えさせない自己紹介ゲーム」で会場が盛り上がった後、「共通点探しゲーム」では、お互いの地元や広島での暮らし、大学生活などについて語り合い、にぎやかな雰囲気の中で親睦を深めました。



○第2回TAセミナー 2026年7月16日 「私のTA経験談—初心者との対話—」



本セミナーは、TA経験者と、これからTA活動を始めようとする学生や経験の浅い学生が交流し、TA業務への理解を深めることを目的としたもので、生物生産学部、人間社会科学研究科、先進理工系科学研究科、統合生命科学研究科から計11名が参加しました。当日は、学生スタッフも加わって3つのグループに分かれ、前半の「TAへの憧れと期待」では、TAに興味を持ったきっかけや活動を始め前に抱いていたイメージについて意見を交換しました。後半の「経験者の経験談」では、実際のTA活動で大変だったことや、学生と接する際の工夫、具体的なアドバイスなどが共有され、各グループで活発に質問や意見が交わされました。

○【教学分析報告】

教育学習支援センターでは、教育・学習活動に関する情報の収集・分析を行い、その成果を教学分析報告として取りまとめています。

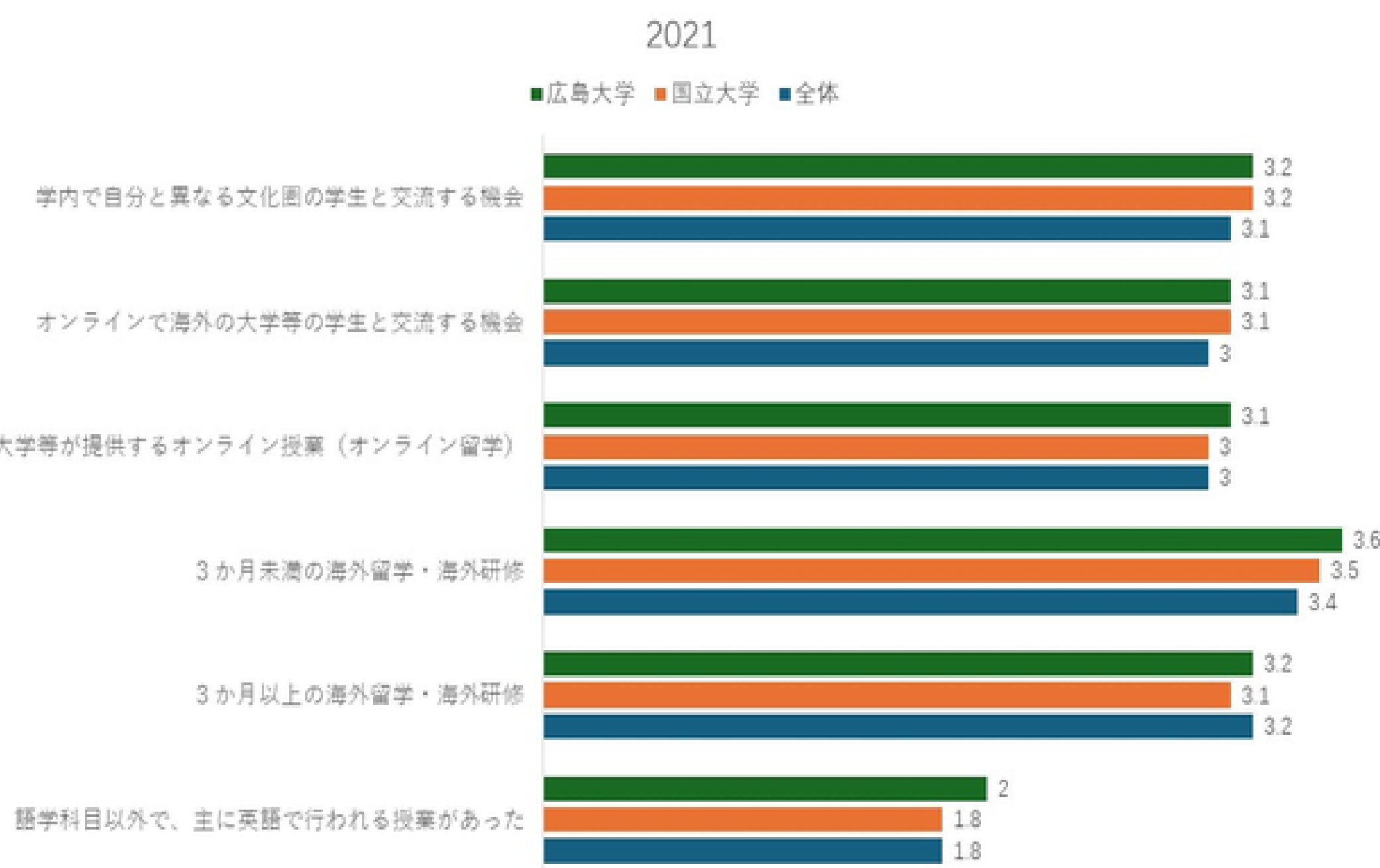
以下では、2026年に掲載された教学分析報告をご紹介します。

大学生活で身についた力への本学学生の主観的評価： 外国語運用力の向上を実感するために必要なものは？

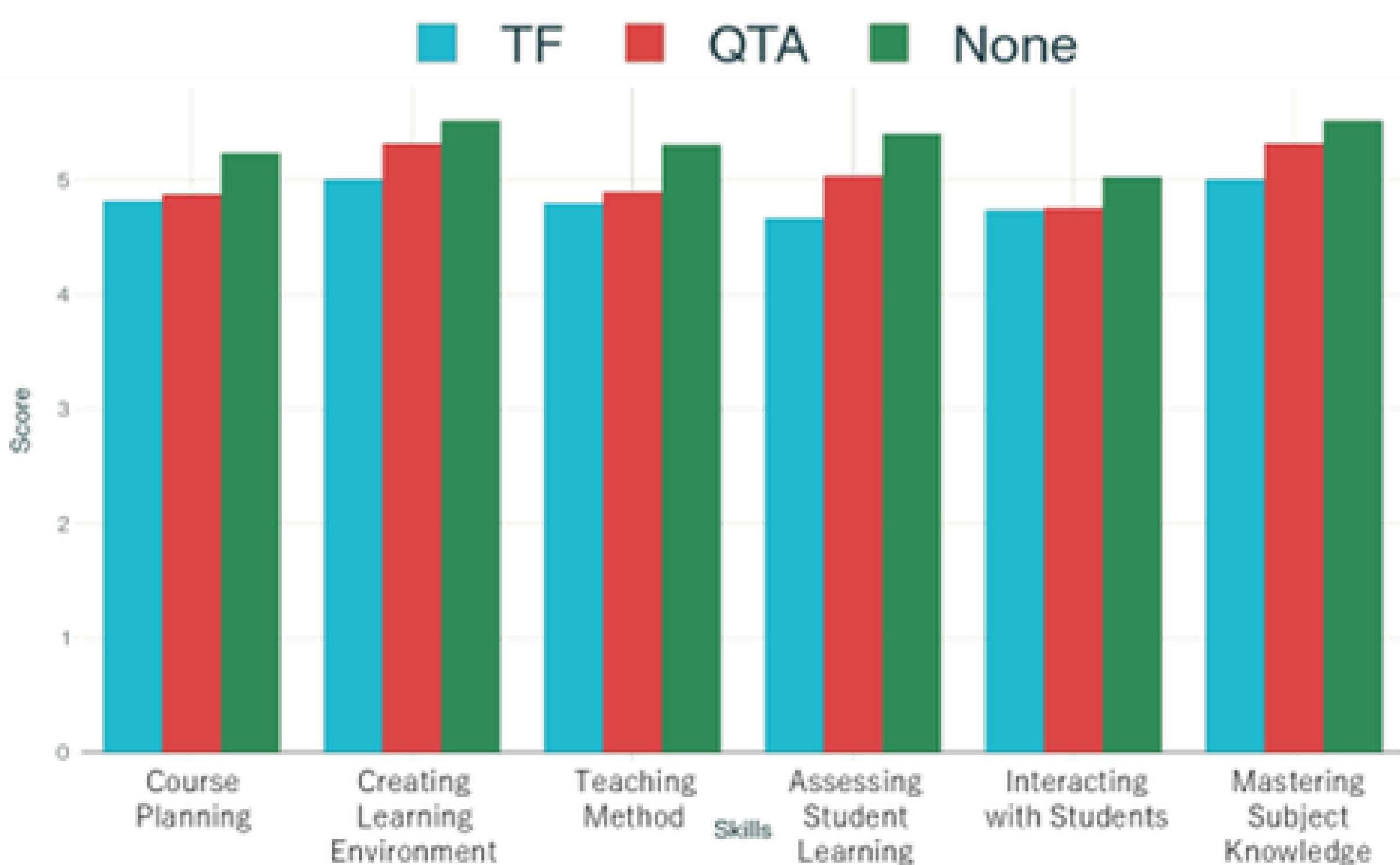
文部科学省「全国学生調査」の2019年度、2021年度、2022年度の結果を用い、学生が大学生活を通じて身につけたと感じる能力を分析しました。その結果、広島大学の学生は、専門分野の知識・理解や多様な人と協働する力などを比較的高く評価する一方、外国語を使う力や異文化に関する知識・理解への自己評価は低く、全国の大学とおおむね同様の傾向を示しました。また、海外留学や異文化交流、英語で行われる授業などの教育活動は、参加した学生から全国と同等またはそれ以上に有用と評価されているものの、参加経験のある学生は少ないことが分かりました。学生が外国語能力の向上を実感できるよう、こうした国際的な教育活動への参加機会を、より多くの学生に広げていく必要性が示されています。



教学分析報告の詳細はこちら



博士課程学生のTA資格取得が映す教育スキル自己認識の実態調査



教学分析報告の詳細はこちら

本調査では、博士後期課程学生108名を対象に、QTA・TF資格の保有状況と教育スキルの自己評価との関連を分析いたしました。その結果、六つの教育スキルのうち「学習成果の評価」においてのみ有意差が認められ、TF保有者の自己評価は資格非保有者よりも有意に低い結果となりました（ $p=0.039$ ）。この背景には、TF保有者が実際の教育経験を通じて評価活動の難しさや複雑さを認識し、より慎重に自己評価している可能性が考えられます。一方で、資格非保有者の高い自己評価の要因については本調査のみでは明らかにできませんでした。また、他の五項目についても非保有者が最も高い平均値を示したものの、有意差は確認されませんでした。以上より、TA資格の保有状況と教育スキル自己評価の間には一定の関連が示唆されましたが、その背景を明らかにするためには、教育経験の質や量を含めたさらなる検討が必要であると考えられます。

○新しく入った学生スタッフのメンバー紹介

- 氏名：島田奈千花
- 所属：人間社会科学研究科 教職開発プログラム（教職大学院）
- 専門分野：音楽教育学、教職実践学

広島大学を選んだ理由

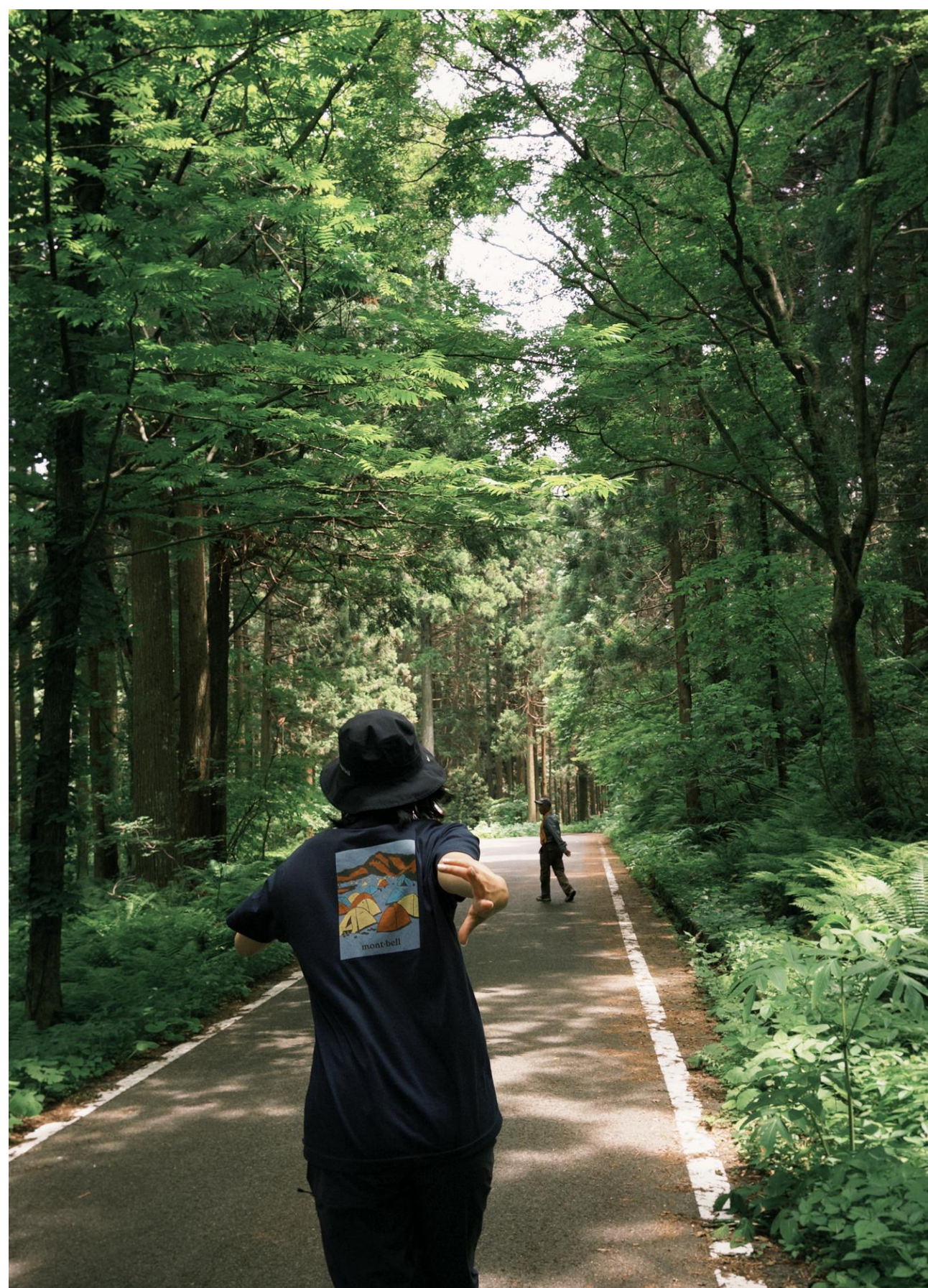
さまざまな角度から教育にアプローチできるフィールドとして、広島大学を選びました。学部時代には、専攻楽器であるサクソフォンの研鑽に励むとともに、生涯にわたる音楽教育について学びを深めてきました。大学院では、学校における音楽科教育に焦点を当て、理論と実践の往還を目指したいと考え、教職大学院への進学を決めました。多様な専門性をもつ仲間との出会いや、教育現場での実践的な研究を通して、日々刺激に満ちた大学院生活を送っています。



学生に伝えたいこと

大学生活は、自ら学びを切り拓く楽しさ（＋難しさ）を実感できる貴重な時間です。1万人を超える仲間が同じ時間を共有しながら、それぞれの「知」の種を育てていると思うと、なんだかワクワクしませんか。ともに学ぶ仲間や恩師との出会いを糧にしながら、この広島大学で過ごす時間をぜひ楽しんでください。教育学習支援センターは、みなさんの学びの過程に寄り添い、そのワクワクとともに育む存在でありたいと考えています。

- 氏名：林芝好
- 所属：人間社会科学研究科 人文学プログラム
- 専門分野：言語学、語用論、音響音声学



広島大学を選んだ理由

学部4年次に交換留学生として広島大学に留学して以来、一貫して広島大学で研究を続けてまいりました。私にとって、自身の研究関心と深く合致する指導教員に出会えたことが魅力的です。博士前期・後期課程を通して、専門分野に関する知識を深めることができただけでなく、さまざまな分野の先生方や学生と話し合っ、視野を広げながら研究に取り組むことができました。このように、多様な考え方に触れながら成長できる環境に大きな価値を感じています。

学生に伝えたいこと

広島大学には、農作業体験や地域の方々との交流、分野を越えた授業の履修、国際交流プログラムへの参加、学会発表、充実したインターンシップなど、さまざまな機会があります。こうした環境の中で、私たちは「自分は何をしたいのか」を考え続けながら、自分に合った機会を見つけることができます。たとえ迷うことがあっても、学内のさまざまな組織や部署が支えてくれます。広島大学で、自分らしい目標や新たな可能性と一緒に見つけていきましょう。

- 氏名：光藤真白
- 所属：統合生命科学研究科 食品生命科学プログラム/
卓越大学院ゲノム先端人材育成プログラム（ライフサイエンスコース）
- 専門分野：発生生殖学

広島大学を選んだ理由

受験生の時、高校生物が一番好きな科目でした。そのため、大学でも生物を勉強してみたいと考えていましたが、どの分野を専攻するか迷っていました。その中で、広島大学の生物生産学部は、入学後に生命科学全般を学んでから、専門分野を選べるという点に魅力を感じました。また、人に教えることにも興味があったため、教師教育が充実している点も、広島大学を選んだ理由の一つです。

学生に伝えたいこと

小さなことでも大丈夫なので、何か新しいことを始めてみてください。学業はもちろん、サークルやアルバイト、趣味などを通して視野を広げることで、思いがけない自分に出会えるかもしれません。実際、わたし自身も、大学生活を通して様々な人に出会い、入学時には想像もしていなかった博士課程に進学しました。もし不安なことやわからないことがあれば、気軽に学生スタッフにご相談ください。みなさんとお話できるのを楽しみにしています！



- 氏名：椎阿巳瑠
- 所属：人間社会科学研究科 人文社会科学専攻 国際平和共生プログラム
- 専門分野：平和構築、暴力的過激主義の予防

広島大学を選んだ理由

私は2025年に他大学から大学院生として広島大学大学院に進学しました。その理由は、学部時代に興味を抱いた平和構築や紛争解決といった学問を体系的に学び研究できると考えたからです。日本ではあまり広く認知されていない専門分野ということもあり、海外大学院を検討しましたが金銭的な理由で断念し、日本国内で絞り探しました。そこで、現在自分が所属しているプログラムを見つけ、調べていくうちに、経験豊富な教授の方々や、自身の専門分野の講義、そして多様なバックグラウンドを持つ院生の存在が、他大学には見られず、それが決め手となりました！

学生に伝えたいこと

よく「若いうちにたくさん失敗しなさい」と言われます。でも私が振り返って本当に意味があったのは、失敗の数よりも、飽きても一つのことを続けたことでした。

今の世の中は、次から次へと関心に移りやすいようにできています。新しく始めたときは誰でも夢中になれるですが、難しいのはその先です。私も何度も別のことに移りたくなりましたが、乗り換えずに残ったことが、結局いちばん自分の力になりました。何か一つ本気で取り組めるものを見つけて、冷めてきた後も、もう少しだけ続けてみてください。



2026年度後期の活動予定

教育学習支援センターでは、学生の学びや大学生活を支援するさまざまなイベントを企画・運営しています。
2026年度後期に開催される予定のイベントをご紹介します。

10月	第3回「広大トークシェア」
11月	第3回TAセミナー
1月	第4回TAセミナー

○学生スタッフ一同、お待ちしております！

教育学習支援センターは
学生みなさんが「ちょっと困った」ときに、気軽に相談できる場所です。
「こんなことを聞いてもいいのかな？」と思うようなことでも、どうぞ遠慮なくご相談ください。
お一人でも、お友達と一緒にでも、お気軽にお立ち寄りください。



イベントの開催情報や詳しい内容は、
教育学習支援センターの[HP](#)、[Instagram](#)、
[X](#)で発信しています！
気になる内容がありましたら、ぜひHPや
各公式SNSをご覧ください！

【問い合わせ先】
広島大学 教育学習支援センター
Email: capr@hiroshima-u.ac.jp

教育・学習に関する相談フォーム
<https://forms.office.com/r/VPcgP8nzGA>

